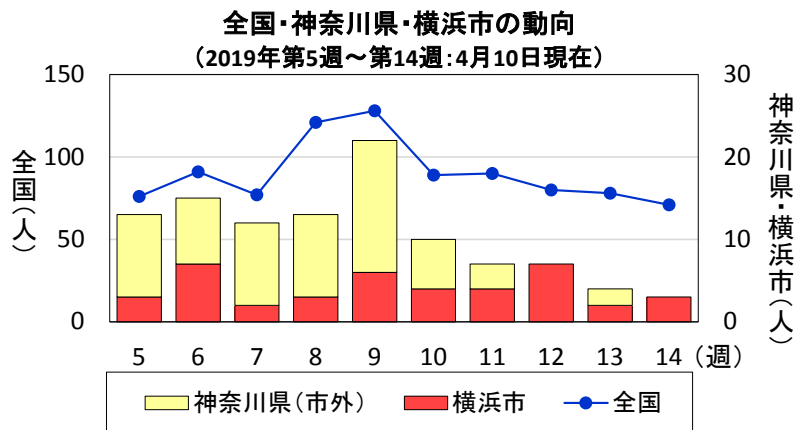
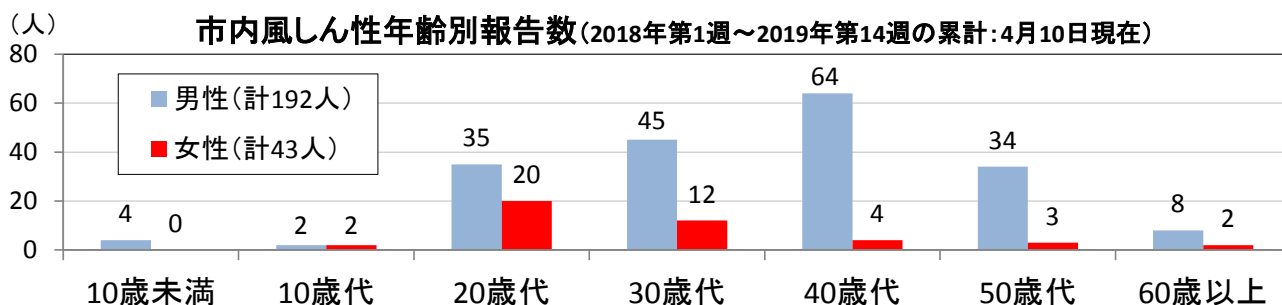


神奈川県内でも第31週(7月30日～8月5日)から報告が続いています。人口あたりの患者報告数は、東京都、千葉県、福井県、神奈川県、佐賀県、福岡県の順に多く報告されています。

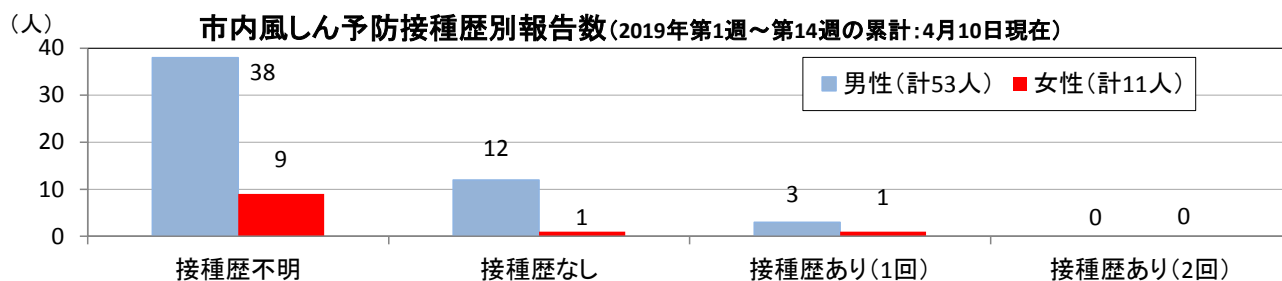
※神奈川県(市外)の第14週の患者数は未確定のためグラフには掲載していません。



2 届出患者の性年齢別状況:市内では、患者のうち男性が192人、女性が43人となっています。30～40歳代の男性の報告数が多くを占めていますが、50～60歳代の報告もあります。



3 予防接種の接種状況:2019年第1週以降、市内の感染者で予防接種歴が確認されたのは男性3人、女性1人で、他はすべて接種歴なしか、不明でした。風しんの予防には予防接種が有効です。大人の方は、自身の母子手帳などで接種歴を確認しましょう。



4 風しんの予防接種等について

○定期予防接種(風しんは、予防接種法による定期予防接種の対象疾病です。)*3

現在実施している定期予防接種では、「麻しん・風しん混合ワクチン」(MR ワクチン)を2回接種します。

【標準的な接種期間】

- ・1期:1歳以上2歳未満
- ・2期:5歳から7歳未満で小学校就学前1年間

*3 [麻しん風しん予防接種について\(横浜市保健所\)](#)

○横浜市風しん対策事業(再掲)

横浜市では、19歳以上の横浜市民で、「妊娠を希望されている女性(注:妊娠中は接種できません)」、「妊娠を希望されている女性のパートナー」、「妊婦のパートナー」を対象に、「風しん予防接種」と「抗体検査」を実施しています。事業の詳細および協力医療機関はホームページ*4をご確認ください。

*4 [横浜市風しん対策事業\(横浜市保健所\)](#)